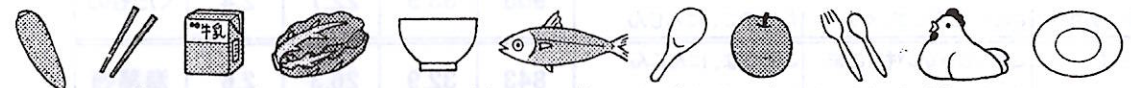


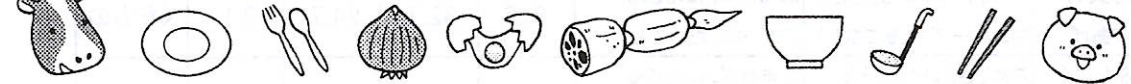
給食だより 1月 市川市立第三中学校

あけましておめでとうございます。新しい1年が始まりました。1月24日から30日は全国学校給食週間です。いつも食べている学校給食の始まりや意義、役割などについて考えて、みんなで話してみましよう。



1月24日から30日は全国学校給食週間です

明治22(1889)年に始まった学校給食は、戦争により一時中断しましたが、アメリカのLARA(アジア救済公認団体)等の物資援助を受けて再開されました。昭和21(1946)年12月24日に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」と定め、その後、給食の意義や役割についての理解や関心を深める週間として、冬休みに重ならない1月24日から30日が「全国学校給食週間」になりました。

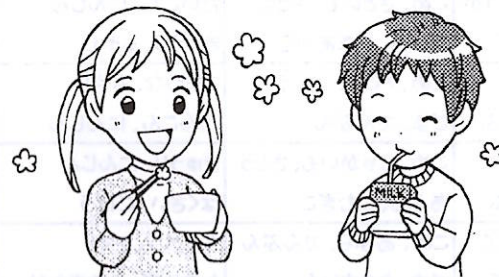
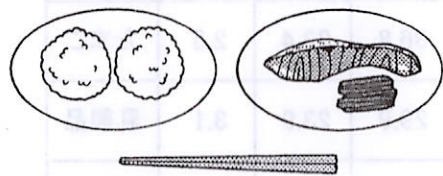


学校給食の始まり

学校給食は、明治22(1889)年、山形県の忠愛小学校で、家が貧しい子どもたちへ、無償で昼食を出したのが始まりとされています。当時の献立は塩さけ、おにぎり、漬物といわれます。それから全国各地に広まってきました。

給食はおいしい教材!

給食はおいしい食事での体の成長を支えるだけでなく、みなさんが栄養素の知識や望ましい食生活や食事のマナーなどを身につけたり、行事食や郷土食を通して、地域の文化や伝統を学んだりすることができる教材でもあります。

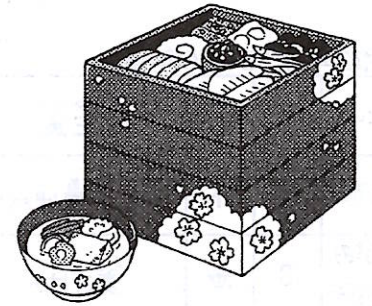


保護者のみなさまへ

本年もよろしくお願いいたします。1月には全国学校給食週間があります。学校給食には子どもたちの心身の健康と成長を助け、正しい食の知識や食生活を身につけさせる役割があります。家族でお話する時に、給食の思い出や好きだった献立などのことを話題にしてみてください。

正月の行事食 おせち料理・雑煮

正月は幸せや豊作をもたらすその年の神様を迎える年中行事として、昔から大切に祝われてきました。おせち料理には年神様をもてなして、共にいただくものとして、さまざまな意味や願いが込められています。また、雑煮には家庭や地域によってもちの形や味、材料などに違いがあります。こういった行事やお祝いの日食べる特別な料理を「行事食」といいます。



鏡もちの上にみかん?

丸く平たいもちを重ねた鏡もちは、年神様にお供えるものです。もちの上のみかんを飾る家庭も多いと思いますが、正式には「だいたい」という果実を飾ります。だいたいは冬が過ぎても実が落ちないため、「代だい(だいたい)家が繁栄するように」という願いが込められているのです。



クイズ

七草がゆに入れるすずなって何?

- ①ねぎ
- ②かぶ
- ③ほうれんそう



七草がゆは、1月7日の朝に春の七草が入ったかゆを食べて無病息災を祈る行事です。春の七草は、せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ。「すずな」はかぶのことで、古くから食べられていた野菜のひとつです。また、「すずしろ」はだいこんのことです。

できているかな? 正しいマスクのつけ方・外し方

つけ方 手を洗ってからつけます

- ① 鼻と口の両方をしっかり覆う。
- ② ゴムやひもを耳にかける。
- ③ 隙間がないように鼻まで覆う。

外し方 外した後は手を洗います

- マスクの表面に触らずにゴムやひもをつまんで外します。
- 鼻が出ています 口と鼻が出ています
- よくないつけ方
- 鼻と口を覆うことが大切です。